

## 安全データシート

作成日 2003年04月04日

改訂日 2014年05月01日

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 :「ザ・塩」  
整理番号 :HS114  
会社名 :北海道曹達株式会社  
住所 :北海道苫小牧市沼ノ端134番地122号  
電話番号 :0144-55-3788  
FAX番号 :0144-55-1193

### 2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害性 :大量に飲み込んだ場合又は吸入すると吐き気、嘔吐などの症状が現れることがある。  
皮膚、眼に対して刺激が現れることがある。  
反復曝露により、高血圧の危険性が高まる。

環境への影響 :少量の場合は環境への影響は小さいが、大量に放出すると、水生生物、植物、微生物等に有害である。

物理的及び化学的危険性 :通常の手扱いで安定で、危険性は低い。

特有の危険有害性 :特になし

GHS分類  
本品に関するデータがないため、GHS分類出来ない。  
現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境にたいする有害性の全項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

絵表示またはシンボル :該当なし

注意喚起語 :該当なし

危険有害性情報 :飲み込むと有害(経口)のおそれ。  
皮膚の刺激のおそれ。  
眼の刺激のおそれ。  
大量吸入により刺激等のおそれ。  
呼吸器への刺激のおそれ。  
水生生物に毒性。  
大量放出の影響により水生生物に有害のおそれ。

注意書き  
予防策 :使用前に本紙の安全注意事項を読み取り扱う事。  
必要に応じ適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。  
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用すること。  
取り扱った後、手、顔などをよく洗うこと。  
この製品を使用する時には、飲食または喫煙をしないこと。

対応 :飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに口をすすぐこと。  
皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。  
吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
眼に入った場合は、水で数分間洗うこと。  
気分の悪い場合は、直ちに医師の診断を受けること。

保管  
廃棄 :湿気、直射日光を避け、換気のよい涼しい場所で保管すること。  
:内容物又は容器を廃棄する場合には、都道府県の規則に従うこと。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 単一製品
化学名又は一般名	: 塩化ナトリウム
別名	: 塩
化学式(化学特性)	: NaCl
含有量	: 95%以上
化審法番号	: 1-236
安衛法番号	: 1-236
CAS番号	: 7647-14-5

## 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し易い姿勢で休息させる。 直ちに医師に連絡し、診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 速やかに、流水又はシャワーで洗うこと。 気分の悪い時は医師に連絡し、診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに大量の水道水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 気分の悪い時は医師に連絡し、診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 大量の水を飲み、体外に排出させること。 気分の悪い時は医師に連絡し、診断を受ける。
最も重要な徴候及び症状	: 大量に吸入した場合、下痢、むかつき、嘔吐、腹痛。 皮膚に付着した場合や眼に対して、刺激があることがある。 反復曝露により高血圧のおそれがある。
応急措置をする者の保護	: 安静と経過観察が不可欠

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 不燃性。
特有の危険有害性	: 不燃性物質。 火災によって刺激性、有毒なガスやヒュームなどを発生するおそれがあるので注意する。
特有の消火方法	: 消火が必要であれば、注水又は水噴霧が推奨される。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	: 関係者以外の立ち入り禁止とする。
環境に対する注意事項	: 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。
回収、中和	: こぼれたものを回収し、後に廃棄処分する。
二次災害の防止	: 漏出物は、容器に回収し、安全な場所に移す。 漏洩した場所の周辺にはロープを張る等し、関係者以外の立入を禁止する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 保護具を着用し取り扱う。
局所排気・全体換気	: 局所排気、全体換気を行なう。
注意事項	: 特になし。
安全取扱注意事項	: 使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 取扱後は良く手を洗うこと。  
 工程で粉じん等発生するときは、換気用の換気を行なうこと。  
 この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしない。

## 保管

保管条件 : 涼しく換気の良い場所に保管する。  
 直射日光を避け、なるべく乾燥した場所に保管する。  
 容器包装材料 : ガラス、ポリプロピレン、ポリエチレン等。

## 8. 曝露防止及び保護措置

設備対策 : 貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設ける。  
 高熱取扱で、工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、換気装置を設ける。  
 管理濃度 : 未設定  
 許容濃度 日本産業衛生学会 (2006年度版) : 設定されていない  
 ACGIH (2006年度版) : 設定されていない  
 保護具  
 呼吸器の保護具 : 必要に応じて適切な呼吸器保護具を使用すること。  
 手の保護具 : ゴム手袋  
 目の保護具 : ゴーグル型  
 皮膚及び身体の保護具 : ゴム長靴、保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

外観  
 物理的状态 : 白色の結晶～結晶性粉末  
 形状 : 結晶  
 色 : 白色  
 臭い : 無臭  
 pH : 5～8 (5%水溶液、25℃)  
 融点 : 801℃  
 沸点 : 1,413℃  
 引火点 : 不燃性  
 爆発範囲 : 不燃性  
 蒸気圧 : 1mmHg (865℃)  
 比重(相対密度) : 2.165g/cm<sup>3</sup>  
 溶解度 : 水に可溶  
 アルコール、グリセリンにわずかに溶ける  
 濃硫酸に不溶  
 オクタノール/水分配係数 : データなし  
 自然発火温度 : 不燃性  
 分解温度 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱いで安定である。  
 吸湿し固結することがある。  
 反応性 : 強酸化剤と反応することがある。  
 危険有害反応可能性  
 避けるべき条件 : 日光、熱、湿気。  
 混触危険物 : 強酸化剤。  
 危険有害な生成物 : 火災で強熱分解すると、有害なガス、蒸気を発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 経皮;ウサギ LD <sub>50</sub> =3,000mg/kg 経口;大量に飲み込むと、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などの症状が現れることがある。 ラット LD <sub>50</sub> =3,000mg/kg 吸入(粉じん) のど、気管、鼻の粘膜が刺激されることがある。 ラット LD <sub>50</sub> >42g/m <sup>3</sup> /1Hr
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚に付着すると、刺激、炎症が現れることがある。 ウサギ 50mg/24Hr 軽度
眼に対する重篤な影響	: 眼に入ると、刺激、炎症が現れることがある。 ウサギ 10mg/24Hr 中程度
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性	
(単回曝露)	: データなし
(反復曝露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: データなし 水に溶解易い為水生環境へ容易に拡散し、大量に放出させると、水生生物に有害である。
その他	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

国連分類	: 該当なし
国連番号	: 該当なし
国連輸送名	: 該当なし
容器等級	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
日本国内での規制情報	: 特に該当法律がない。

---

## 15. 適用法令

塩事業法	: 製造及び緊急時の供給
------	--------------

---

## 16. その他の情報

引用文献

記載の取扱い

:ソーダハンドブック

:全ての情報や文献を調査したわけではないため情報もれがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意願います。

製品の譲渡時にはSDSを添付して下さい。

SDSに関するお問い合わせ

:営業部営業課

合わせ先 Tel:0144-55-3788

Fax:0144-55-1193